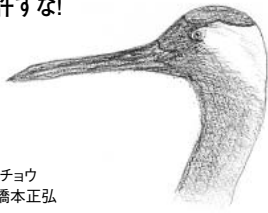


☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 芹沢 芳郎
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

4.17あおぞら ウェブ府民集会

260人が参加しデモ行進も 秋までに10万筆の署名をめざす



4月17日、公的支援を受けていないぜん息被害者に救済の制度をつくる署名運動のスタート集会、『ぜん息被害者の救済制度をつくろう!あおぞらウェブ府民集会』が北区民センターで開かれました。

芹沢実行委員長は「18団体12地域・個人で始まった運動ですが、実態調査の中で大気汚染が引き続き深刻な状況であること。被害は子供だけでなく全年齢に

4月17日、公的支援を受けていないぜん息被害者に救済の制度をつくる署名運動のスタート集会、『ぜん息被害者の救済制度をつくろう!あおぞらウェブ府民集会』が北区民センターで開かれました。

そして大阪全域に広がっていること。医療費負担と生活苦、被害者は負の遺産に追い詰められている。せめて医療費だけでも無料に、は、切実な声です」と「ぜん息被害者の救済を求めると」の立ち上げの意義と役割を語りました。

東京裁判の和解で医療費助成制度を実現させた東京患者会から参加した3名の仲間が、『若い人ほど制度ができてよかった

医師の川崎美栄子先生からは「大気汚染と気管支ぜんそく、ぜん息被害の実態調査の報告」について映像で詳しく報告されました。舞台上で登場した未救済患者の皆さんは、『30年近くぜん息発作に苦しんでいる。』『一人暮らしで夜が怖い。』『酸素ボンベが唯一の命綱です。発作の苦しみに、お金の負担はもう限界です。せめて医療費だけでも無料に!』と切々と訴えました。認定患者からも「一緒に頑張りますよ」とエールの握手!

バス2台で参加した西淀川地域と大阪労連から連帯挨拶、公害患者会を代表して森脇会長は、



(大阪公害患者の会連合会 和久利正子記)